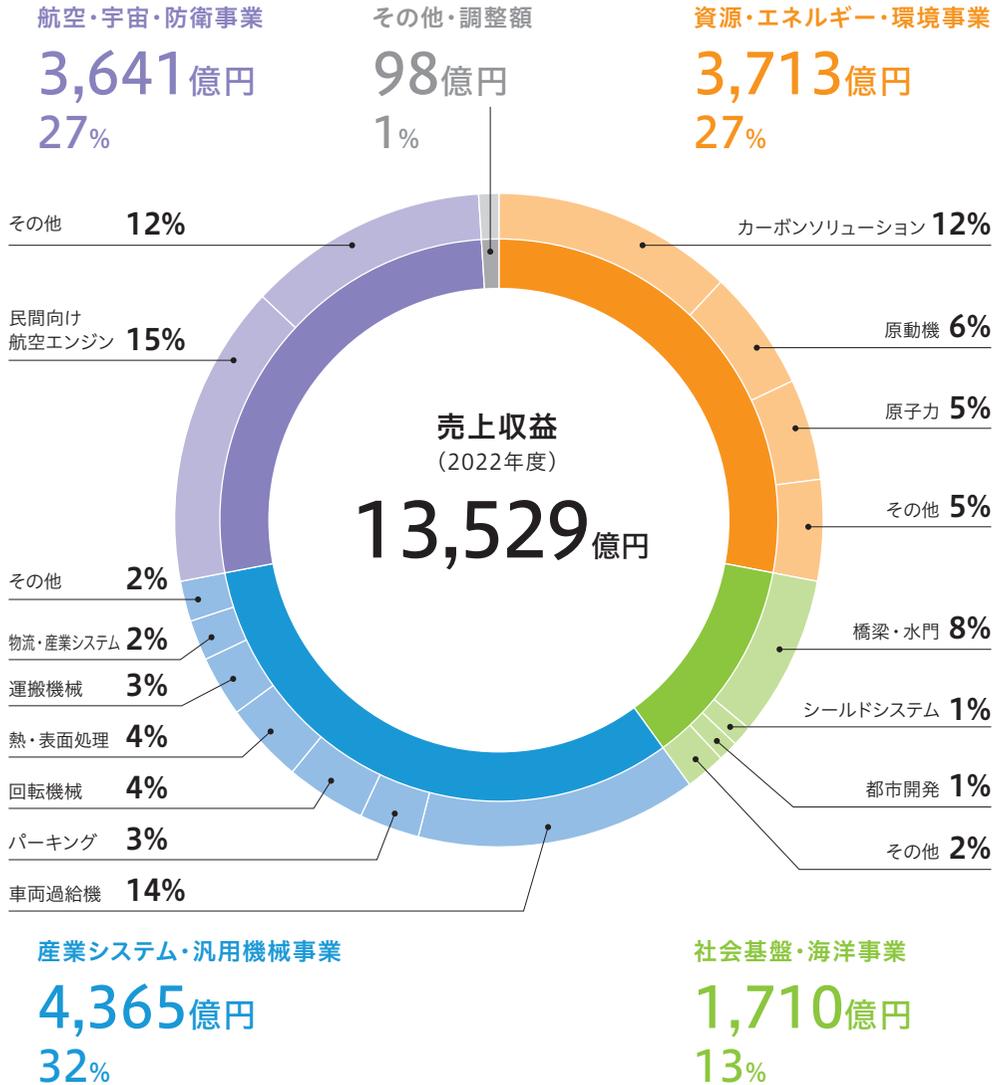
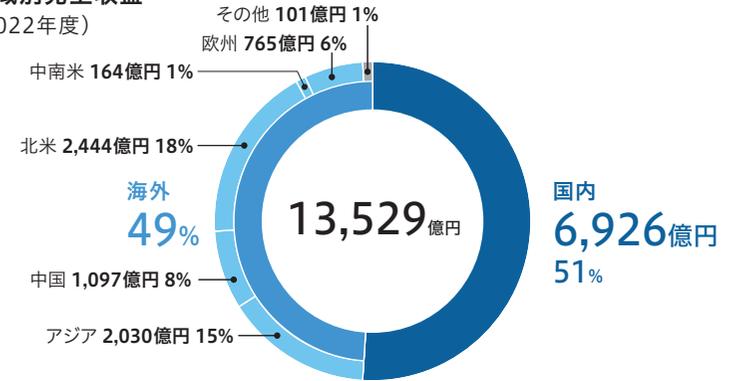


財務・非財務ハイライト

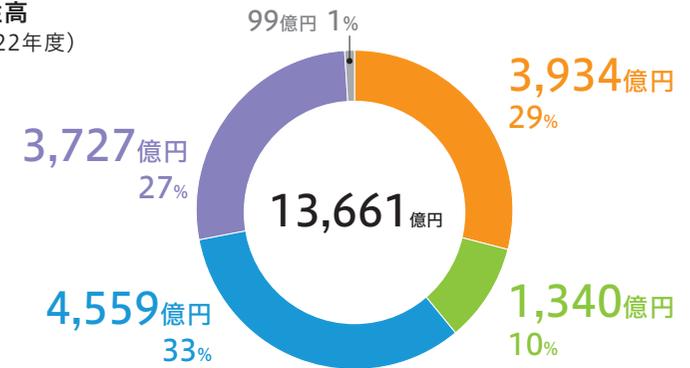
事業概況 (2022年度)



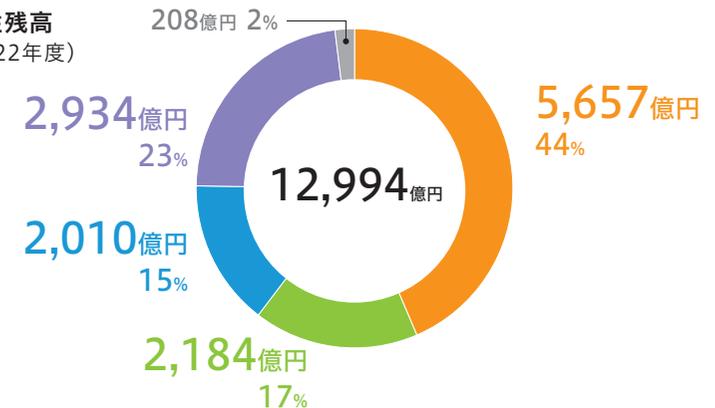
地域別売上収益 (2022年度)



受注高 (2022年度)



受注残高 (2022年度)



■ 資源・エネルギー・環境事業 ■ 社会基盤・海洋事業 ■ 産業システム・汎用機械事業
■ 航空・宇宙・防衛事業 ■ その他・調整額
※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てているため、各セグメントの合計が100%にならない場合があります。

財務 売上収益, 営業利益率, 税引後ROIC

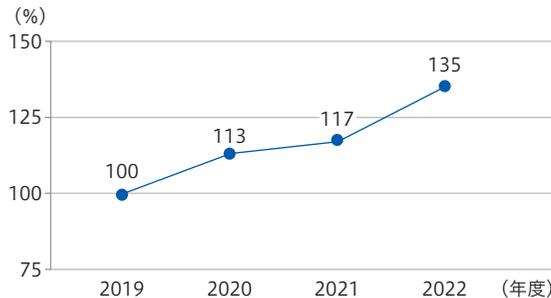
売上収益 13,529 億円 営業利益率 6.1% 税引後ROIC 6.3%



2022年度の売上収益は前年度比15.3%増の1兆3,529億円、営業利益は同0.6%増の819億円、営業利益率6.1%となりました。前年度に実施した保有資産売却の影響があったものの、民間向け航空エンジンでのスペアパーツ販売増加、新製エンジンの原価低減や性能改善に伴うプログラム関連費用の負担減少に加え、為替が円安に推移したことにより増益でした。これらの結果、税引後ROICは6.3%となり当初見通し6.0%を上回りました。

財務 LCB(ライフサイクルビジネス)指数化 売上収益の推移

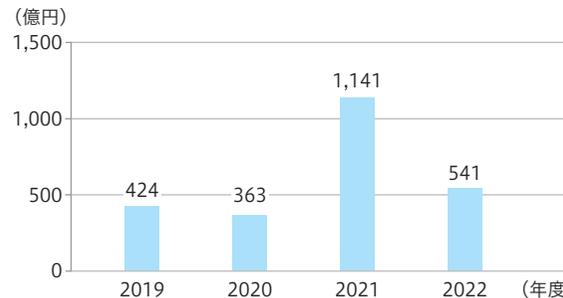
135%



2022年度の航空・宇宙・防衛事業領域を除くLCB売上収益は、取組みを始めた2019年度対比で35%増となりました。これは「プロジェクトChange」の目標である30%増を上回り、人財をはじめとするリソースシフトやDX推進、LCBのグローバル展開への取組みが成果となって現れました。今後は、「グループ経営方針2023」で掲げるLCBの深化と進化により、さらなる成長を目指します。

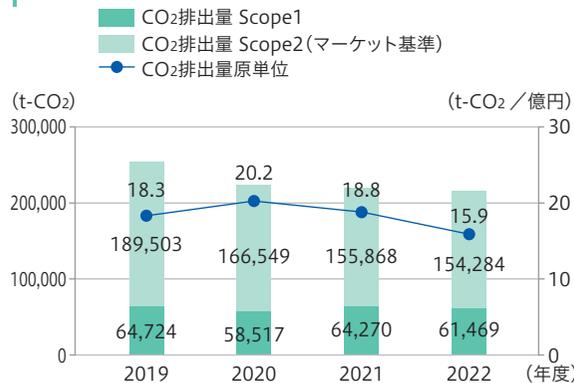
財務 営業キャッシュ・フロー

541 億円



営業活動によるキャッシュ・フローは541億円の収入超過(前年度は1,141億円の収入超過)となり、目標値の1,300億円を下回りました。営業CFが前年度比-600億円となった主な要因は前受金減少による契約負債の減少、売上収益増加による営業債権の増加、棚卸資産および前払金の増加、法人税支払額などのマイナス要因を有形固定資産や投資不動産売却益減少のプラス要因でカバーできなかったことによります。

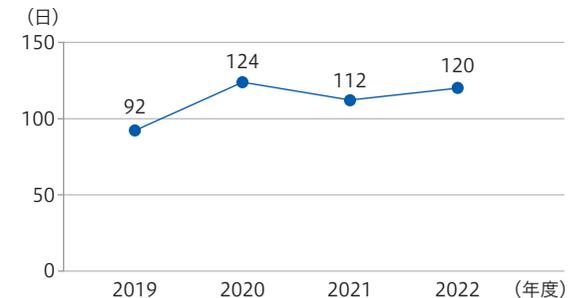
非財務 CO₂排出量



IHIグループは工場・事務所などにおけるCO₂排出量(Scope1, 2)について、2023年4月に経済産業省のGXリーグに参画して2030年に半減(2019年度比)とし、2050年のカーボンニュートラル実現に向かって削減を目指しています。2022年度のCO₂排出原単位は15.9t-CO₂/億円となり、2019年度の実績18.3t-CO₂/億円に対して13%低減することができました。2030年の目標に向かって、引き続き低減を進めてまいります。

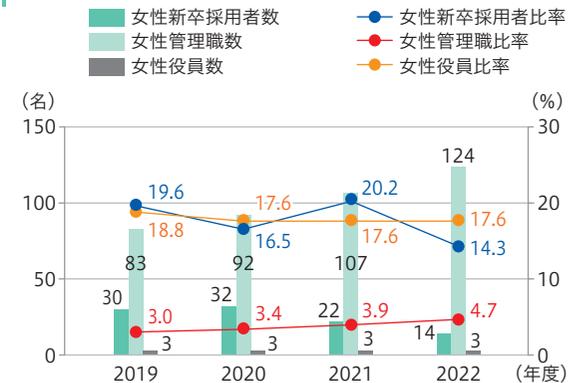
財務 CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)

120日



CCCは年初予想値99日を達成できず120日となりました。資源・エネルギー・環境事業領域を中心にLCB中心の事業体を目指すことによる影響が要因のひとつとらえています。また、航空・宇宙・防衛事業領域において、当面の間の増産がほぼ確実となり、仕入先行の時期に入ったことに加えて、材料などの供給難への対応から一時的に棚卸資産が増加したことも要因とらえています。今後はあらゆる運転資本改善策を実行してCCCの改善に努めます。

非財務 女性活躍推進



IHIグループは経営戦略の一環としてダイバーシティ&インクルージョンの推進に取り組んでいます。社会課題解決のためにイノベーションを生み出し、新たなIHIグループを創ることを目的に、経営幹部候補の多様化などの取組みを進めています。2022年度に女性新卒採用者数比率は14.3%に減少しましたが、23年度卒採用では各種対策の成果によって20%台に回復する見込みです。